

所 属	地域産業課
所属長	三宮 直樹
電 話	06-6430-9750

## 尼崎市 SDGs 推進サポーターツール(パンフレット)完成 「あま咲きコインで SDGs を楽しもう 知ってほしい尼崎の「SDGs」」

尼崎市では、SDGs の周知、啓発及びその達成に向けた活動への関心を高め、SDGs に資する取組の促進を図るとともに、あわせて、本市が実施する電子地域通貨(あま咲きコイン)の導入等キャッシュレス決済推進に係る取組の普及を促進していくため、市民、事業者との協働、相互理解のもとに事業を進めていくことを目的として、尼崎市 SDGs 推進サポーター等制度を創設し、サポーターやアドバイザーを認定しています。

その中で、尼崎市 SDGs 推進サポーターによるサポーター活動の一助とするため、尼崎市 SDGs 推進アドバイザーの協力のもと、SDGs やあま咲きコインについて分かりやすく解説した「あま咲きコインで SDGs を楽しもう 知ってほしい尼崎の「SDGs」」を作成しました。あま咲きコインや SDGs について、より身近に感じられるよう、図解やイラストを多く用いて解説しています。

また、紙面では解説し尽くせない専門的な部分については、紙面上に市の公式ホームページに繋がるQRコードを記載し、市の公式ホームページでより専門的な内容を解説しています。当該ページについては、今後さらに内容を充実させ、発展的な内容にしていきます。

### 1 内容について

#### (1) SDGsについて

SDGsの構造や考え方の解説や、誰でも気軽に取組めるSDGsの達成につながる行動を紹介

#### (2) 尼崎市のSDGsの取組について

経済・環境・社会の観点から、尼崎市のSDGsの取組について紹介

#### (3) あま咲きコインについて

あま咲きコインやSDGs推進サポーター、SDGsキッズ・ジュニアサポーターの制度について解説

### 2 配布等について

#### (1) 尼崎市SDGs推進サポーターによるサポーター活動の際に配布・閲覧

#### (2) 地域産業課や各地域課の窓口にて配布

#### (3) 市ホームページにて、PDFデータを公開

<https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/siminsanka/1022002/1024324.html>





表紙

## 第1章 SDGsについて

SDGs(エスディーゼーズ)とは

**Sustainable** ..... 持続可能※な  
**Development** ..... 開発  
**Goals** ..... 目標

の略称です。  
 2015年9月に国連の持続可能な開発サミットで採択されました。

### ※「持続可能」とは・・・

持続可能とは、「続けられる」ということです。この地球で、誰一人取り残さず、私達みんなが安定して暮らし続けるために、2030年までに達成すべき17の目標がかけられました。それがSDGsです。持続可能な世界になっている2030年まで、あと数年。今、私たちがすべきことについて、無理なくできることについて考えてみましょう。



17の目標の中でも  
 貧困の撲滅が  
 最大の課題だと  
 されています

もっと知りたい人はこちらへ →



## SDGsの解説ページ

## 第2章 尼崎市のSDGsの取組について

### お店から広がるSDGsの輪

2 公正な働き方  
 4 質の高い雇用と労働条件  
 5 性別平等  
 8 持続可能な成長  
 12 持続可能な消費と生産  
 17 パートナーシップ

小さなお店の  
 たくさんの小さな取組が  
 SDGsの輪を広げている



### 阪急塚口駅北側にある「塚口商店街」 そこで9年前から 「アリクイ食堂」を営む女性経営者、 吉井さんに話を聞いた。

令和2年度のおま咲きコインが使えるお店(加盟店)として登録していて、地域消費にも取り組んでおり、SDGsに以前から興味があったという店主・吉井さんは、「フードロスの削減」に気を配り、ご飯が切れたら店を閉めている。早く店を開めると、売上が減るのでは?と心配になるが、「その日の売上をみながら管理しているし、廃棄する食材にもコストがかかっているから、利益には影響がない」と話す。それでも余った食材は、アルバイトの贈りや、お客さんへのお土産にするなど、廃棄しないように工夫している。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、テイクアウトにも新たな取組を行った。「使い捨てのお弁当箱はエコじゃない。使用する時間がとても短いし、費用もかかる」と、お弁当箱を再利用する取組を始めた。初めてお客様からデポジット(預り金)として1,000円をもらい、お弁当箱を返すたびに、100円キャッシュバックする「ECO弁」だ。11回目以降は、100円ずつお得になる。とても上等なお弁当箱を使っており、正直、お弁当箱を返してもらえないと、完全に赤字になる。「お

店だけがSDGsに取り組むのではなく、お客さんにもSDGsを理解してもらえないと、続かない仕組みだ」と話す。

また、アリクイ食堂は、お客さんとの距離が近いので、店主やお客さん発信のイベントが随時開催される。今の店主のマイブームは「SDGsとお金」。「人生を楽しむために働いているのに、家に帰るころにはポロ雑巾(笑)」と感じた店主は、お金の知識に興味を持つようになり、自分だけでなくお客さんにも、働き方について考える機会をと、フィナンシャルプランナーを講師に無料の勉強会を開催する。講師も営業の一環で無料で来てくれるとのこと、全くコストをかけずに開催しており、参加者・講師・お店の3社がWINWINの関係と話す。

経済産業省が選定する「はばたく商店街30選」(2018年版)にも選ばれた塚口商店街の副理事長を務める店主は、自身の店舗だけでなく、商店街全体のイベントも企画する。若手店主らが楽しい!と笑いながら企画するイベントは、地域経済の活性化に一役も二役もかかっている。

MEMO